

マルヤマシュウカイドウ

しゅんげつめつ きぐ
準絶滅危惧



学名 Begonia laciniata var. formosana

科名 シュウカイドウ

別名

区分 そうほんらい
草本類

分布 いしがきじま いりおもてじま たいわん
石垣島、西表島、台湾

葉の形

葉の縁 きよし
鋸歯

葉の先

葉の種類 たんよう
単葉

葉の付方 ごせい
互生

葉の基部

実の種類 さくか
蒴果

花・萼色 たんこうしょく しろいろ
淡紅色、白色

説
明

山地の樹林下に生える高さ30-40cmの多年生の草本で、根茎を這わせて葉と根を出します。葉は円形で長さ10-15 cm、葉の縁は浅裂し、鋸歯があります。コウトウシュウカイドウとそっくりですが、葉の切れ込みなどで見分けることができます。